



Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
 ●会長/井上賢明 ●幹事/岩崎 浩 ●会報/荒川圭三

出席報告

会員数79名

今週のお祝い

夫人誕生祝:9日 戸田忍君 12日 杉原弘一郎君
 25日 高橋孝之君 26日 小土井秀明君
 27日 長谷川進君

会長挨拶

五月中旬になり、今日も爽やかな天気です。5月
 という楽しい月をイメージしますが、気温の差が激
 しく体調を崩しやすいと言われます。

よく新入社員や大学へ入学したり、配属が変わっ
 たなどで当初は緊張しているんですが、だんだん気
 力が無くなり無気力・無感動・ひどいとめまいを生じ
 ることもあります。そういった社員にどう対応してい
 たらよいか我々も考えていかなければいけないと
 思っています。いろんな悩みやストレスを抱えてこん
 なはずじゃなかったのにということがあるんでしょうが、
 話をきちっと聞いてあげてどんなことで躓いているの
 かを聞いてあげるのが大事だと言われます。

精神論だけでは今の時代に向かないそうで、新し
 い人に期待してますよという気持ちが十分伝わるよう
 な話が必要と言われます。ロータリークラブでも新
 人歓迎会が予定されております。新しい人と活力あ
 る組織を目指して頑張っていきたいと思えます。

幹事報告

- 6/8例会後 職場訪問 山陰労災病院
「ミニ人間ドック」 先着20名
- 7/3第1回インターアクト委員長会議および地
区
委員会の案内 (ホテルセントパレス倉吉)
(次年度ガバナー事務所より)
- ガバナー・ノミニー事務所開設の案内
- 例会変更のお知らせ
米子南RC5/30(月)夜間例会
ビジター受付あり
境港RC 5/31(火)休会(定款第6条)
ビジター受付なし

次回プログラム

- 5/25 「里親ファミリーホーム マザーズパームとし
ての思い」
マザーズ パーム 代表 小原 幸恵 氏

行事予定

- 6/15(水)休会
 6/15(水)新年度クラブ協議会
 6/29(水)夜間例会



Let's Join!

すすんで参加しよう!

《 プログラム 》

「放射能が人体に与える影響」

加藤クリニック
院長 加藤 卓 先生



放射線と放射能とは？放射線の定義は電離を起こすもので、電離とは放射線のエネルギーによって原子核から電子が出る現象です。放射線の種類にはγ線、X線、電子、陽子、中性子、α線などいろいろあります。放射能とはヨウ素やセシウムなど放射線を出す物質を言います。X線γ線は電磁波、電子や陽子といった原子構造にあるものが粒子線です。X線γ線は質量をもたないエネルギーの波で、紫外線・光・電波などとの違いはエネルギーが高いことです。X線やγ線以上のエネルギーをもって初めて電離を起こします。短時間に4000ミリシーベルトのγ線を体に受けると死んでしまいますが、エネルギーに換算するとコーヒーを一口飲んだ程度です。これは放射線そのものが遺伝子を傷つけるわけではなく、遺伝子の近くにある水分子がγ線のエネルギーで電離を起こします。不安定な水分子のフリーラジカルや電子が遺伝子の二重らせん構造を攻撃します。

シーベルトとベクレルとは？ベクレルは放射能を出す能力、シーベルトは体が受ける放射線の量です。体に取り入れた放射能は、例えばヨウ素131では甲状腺を1とすると胃壁に1/3・生殖線に1/6・骨髄に1/300と臓器で被曝量が違い、簡単にシーベルトで表せないのが体にとり入れてきたかという基準でベクレルを使います。乳児摂取制限の100ベクレルの水1ℓを毎日1年間摂取したとしてシーベルトに換算すると0.23ミリシーベルトになります。これは世界の自然放射線の平均2.4ミリシーベルトに比べると1/10位です。今回は急性放射線障害を生じるような被曝は無く、チェルノブイリで問題になったヨウ素・セシウム・ストロンチウム・プルトニウムについては今のところヨウ素で甲状腺癌が増えたのではないかとのことだけです。

放射線障害に関して環境基準の見解は様々で、1961年の動物実験データでは放射線は少ない量からでも増えていくと癌は起って来て、高線量で蓄積していくと癌が生じ易くなります。低線量では高線量より少ない比率で癌が起ってくるのではないかとされていますが証明はできていません。広島・長崎での追跡調査では1000ミリシーベルトの累積で5%に癌を生じています。遺伝子工学的には寿命は120年といわれていますが、人生80年と考えるとさまざまな要因で40年分は命を縮めていることとなります。人体への悪影響について生活の質や嗜好・ストレス・栄養・風評被害など考えると必要以上に問題視されているのではないかと感じます。